

献立ひとくちメモ

9月17日(火)



十五夜のお話です。



今日9月17日は、十五夜です。

十五夜は、米や栗、さつま芋、里芋など秋の食材を収穫して、満月を見ながら食事を楽しむ日本の伝統的な行事です。十五夜は『中秋（ちゅうしゅう）の名月』とも呼ばれ、「秋の真ん中に出る満月」という意味があります。

日本人は、縄文時代から栗を主食として食べてきました。日本で最も古いとされている歴史書「古事記（こじき）」にも記されています。昔は砂糖が貴重だったので、自然の甘味のある栗はとても大切に食べられていたそうです。

今日は、秋の食材をたっぷり使った給食が登場します。どれが秋の食材なのか探してみてください。
い。